

仕事常識

時間を創る ⑧

川本 裕子さん

マッキンゼー・シニア・エキスパート



時間管理をいくら心がけても突発的なことがおきま
す。仕事でのトラブル、交
通機関の遅れ、家族や同僚
の病气などが起こることに
備え、予防策を講じること
は大切です。

転ばぬ先の杖、転んだあとの…

子供が小さいときには、
急な発熱時などにも対応で
きるようにしておき、本当
に責任をもって出席しなけ
ればならない会議などはで
きるだけ早朝を避けてセッ
ティングする。上司や同僚
が会議をこなせるように事
前説明を怠らない、などは

有益です。

電車の運転士さんは、大
事故が起こったときにどの
ような措置を自分がとらな
ければならないか、動作が
体になじむまで何度も何度
も練習して、実際には起こ
ってはいけない事故に備え
るそうです。

われわれも同じことで
す。不慮の事態に備えて、
どのように行動すれば、他

院の目に当たって来られな
い。

海外から帰って一緒に顧
客への説明会をするはずだ
った上司の飛行機が雪で飛
び立てず、頼りの同僚は疲
労でダウン。そうこうして
いるうちに説明会の時間が
迫る、といった具合です。

誠意を尽くしても、ここ
まで最悪の事態になった
ら、説明会の延期をお願い

して、お詫び
をしなければ
ならないのか
もしれません。

人にできるだけ迷惑をかけ
ずに責任をまっとうできる
か、頭の中で準備をしてお
くことも役に立ちます。
それでも人生では不思議
なことに、突発的な事故が
「世界同時多発的に」起こ
ることもあります。

普段は風邪ひとつひかな
い子供が朝から発熱する。
いつも面倒をみてくれるベ
ビーシッターがその日に限
って高齢の親御さんの入

まってからの危機管理も大
事です。「転ばぬ先の杖つ
え」も大事ならば「転んだ
あとの知恵」も同じように
大切です。「この項おわり

私のビジネステク